

能登教務所通信

4月

大谷暢裕門首及び大谷サチカ夫人の被災地お見舞い



大谷暢裕門首



大谷サチカ門首夫人

3月21日から22日に大谷暢裕門首及び大谷サチカ門首夫人が「令和6年能登半島地震」の被災地お見舞いのため、能登教区を訪問しました。21日は午後2時から済美精舎本堂において、約60名が参加し、勤行の後、門首と大谷婦人会会長である門首夫人からお見舞いの挨拶をいただきました。

門首からは、震災により尊い命が奪われた方々への哀悼の意が表され、今なお、苦しい生活を余儀なくされている方々へのお見舞いと、能登の地に聞法の方が回復することを願う旨の挨拶が述べられました。

門首夫人からは、能登には大谷婦人会の支部があり会員も多くおられることから、心配が募る中、ようやく訪れることができたことと、念仏を心の依り処に支え合っていくことを願う旨の挨拶が述べられました。

門首夫妻挨拶の後、能登教区内住職及び門徒から被災地の現況について、初めに教区会議長の完恵氏（第10組永誓寺）から報告があり、その後、住職代表として第4組組長の貫井和也氏（恵光寺）、第7組組長の橘昌憲氏（仏照寺）、教区会参事会員の隆彰見氏（第11組聖徳寺）が報告しました。続いて、門徒代表として、参議会議員の岩田弘氏（第3浜方組存立寺）、教区門徒会長の上田義雄氏（第7組長誓寺）、教区門徒会員の上野武守氏（第10組光行寺）が報告しました。

各地の被災状況について報告を受け、門首からは、「想像を超えた被災状況であり、かけるべき言葉がすぐに見つかりません。これから、皆様方の光となっているお念仏の教えが途切れることのないよう守り伝えていく道を、共に探してまいりたいと思います。」と、被災地を想うあまり時折声を詰まらせながらも、感想を述べられました。

翌22日には、震災で住職が亡くなられた廣榮寺（第10組）及び避難所となっている珠洲市若山小学校、大谷婦人会の支部がある正福寺（第10組）をお見舞い訪問しました。

今回の訪問は、なるべく早い時期に被災地のお見舞いに訪れたいとの門首夫妻の想いにより実現しました。

門首夫妻のあたたかい言葉に触れ、聞法の方の回復に向けた願いを確かめる2日間となりました。



若山小学校をお見舞い訪問

教区教化事業のご案内

現在、能登教区の教化事業は休止しております。実施予定の事業がある場合、あらためてお知らせいたします。

◇得度受式予定の方へ◇

得度の受式を予定されている方は、得度考査の個別実施について相談に応じますので、教務所までご連絡ください。

◇大谷婦人会法話会の中止について◇

4月12日（金）に予定されていましたが「大谷婦人会法話会」は、2月29日開催の大谷婦人会理事會において中止する旨が確認されましたので、お知らせいたします。

◇小松大聖寺教区災害支援活動「お講×おてら café」実施について◇

このたび、小松大聖寺教区と協力して、能登から加賀市に二次避難されている方々を対象としてお講を開催し、カフェを併設して集まっていただける場を提供いたします。該当施設に避難されているご門徒にお声がけをいただき、住職並びに寺族の方も一緒に参加くださいますよう、ご案内いたします。

- ・日 時 2024年5月1日（水）午後2時～4時
- ・講 師 加藤 宦 氏（白峰・林西寺前住職）
- ・対 象 加賀温泉に避難されている寺族・門徒（対象施設はチラシ参照）
- ・参加費 無料



共済及び災害支援について

◇重要：宗費賦課金の減免申請について◇・・・申請書同封（寺院宛のみ）

震災の影響により賦課金の納付が困難な寺院については、別紙の臨時措置規程に基づき減免の申請をすることができます。申請を希望される寺院は、同封の「賦課金の減免申請書」にて、必要事項を記入し、教務所まで提出ください。なお、被害程度が減免基準に満たない場合は減免されませんので、ご理解のうえ申請ください。

申請期限につきましては、このたびの被害状況に鑑みて、6月30日まで延長されておりますが、第一次締め切りとして、5月31日（金）までに教務所へ提出ください。

大変な状況である中で、ご無理申し上げますが、早期の提出にご協力ください。

※詳細については、同封の「申請書記入注意事項」をご覧ください。

◇第二種共済の申請について◇・・・「共済説明会質疑応答」先月号同封

第二種共済の申請を希望される寺院は、「第二種共済手続きに係る返信用紙」を4月30日（火）までにご提出くださるようお願いいたします。今後、報告内容に基づいて共済の査定が進められます。

◇被災された門徒へのお見舞いについて◇・・・案内チラシ先月号同封

次のとおり、被災されたご門徒へのお見舞い品がございますので、ご活用ください。

【お見舞い品】

- ① お見舞いタオル
- ② お内仏パンフレット [お内仏のある生活]

【被災門徒への支援】

- ① 災害用三折御本尊（三折本尊・勤行本2冊）【無償】
※お内仏に被害が生じた門徒が対象
- ② 院号法名の再授与【無償】
※災害により院号法名を損壊・亡失した門徒が対象
- ③ 帰敬式法名紙の再交付【無償】
※住職選定・本山選定問わず、災害により法名紙を損壊・亡失した門徒が対象
※本山において法名を染筆後お渡しいたします。

三折御本尊及び法名紙については、通常、申請書に加え、被災状況のわかる新聞記事等を添付いただく必要がありますが、今回の震災においては、手続きを簡略し、ご門徒の情報（お名前とご住所）を教務所へ報告いただくことで、お渡しできます。

◇寺院清掃及び片付けのお手伝いについて◇・・・案内チラシ先月号同封

宗派ボランティア支援センターでは、本山派遣職員や教区外ボランティア、また教区ボランティア委員会と連携し、救援物資のお届けや本堂・庫裡の片付け、御本尊並びに法宝物の運び出しなどをお手伝いさせていただいております。



ご要望の内容や建物の状況、希望日時を事前にお聞きし調整した上で、伺いますので、まずは下記までご連絡ください。

真宗大谷派ボランティア支援センター

直通TEL 070-1860-6010

※受付時間 9時30分から16時まで

◇能登教区ボランティア委員会への協力について◇

教区内有志による能登教区ボランティア委員会では、救援物資のお届けや本堂・庫裡の片付け、炊き出し等、一緒に活動いただける仲間を募っています。短時間や地域限定での参加でも結構です。ご協力いただける方は、ボランティア支援センター（TEL070-1860-6010）までご連絡ください。

◇災害支援北陸門徒ネット NEWS について◇・・・別紙活動報告を参照ください。

真宗大谷派の北陸三県の有志を中心に起ち上げられた「災害支援北陸門徒ネット」の活動報告を同封しております。また、活動に支援いただける方は報告書記載の口座まで寄付をお願い申し上げます。

◇災害救援金報告◇

宗派及び各教区・寺院（教区内外）・団体・個人等から寄せられた救援金の状況について報告いたします。

5,783万4,764円（3月27日現在）

※2月26日の災害救援本部において、第1次救援金として全寺院一律10万円を給付することが確認されております。

本山・教区事務についてのご連絡

◇教区門徒会員の改選に伴う『能登教区通信』のお届けについて◇

3月31日(日)をもって、教区門徒会員の任期が満了となるため、再任されない教区門徒会員の方への本紙のお届けは今月号をもって終了となります。なお、来月号からは再任または新任の教区門徒会員の方へお届けいたしますので、よろしくお願い致します。

◇『真宗』及び『同朋新聞』の発送について◇

3月27日現在、輪島市及び珠洲市の一部地域へ本山定期刊行物がお届けできない状態です。避難先などへ転送することができますので、ご希望の場合は教務所までご連絡ください。あわせて、『同朋新聞』の配布数変更を希望の場合はお知らせください。

なお、『同朋新聞』については、宗派公式ページ内「機関紙・同朋新聞」で公開されていますのでご覧ください。
 ▣ <https://www.higashihonganji.or.jp/doboshimbun/>

◇諸届の提出について◇・・・提出書類の雛形を同封（寺院宛のみ）

寺院規則により、毎年3月末が会計年度終了となっている寺院が多くあります。役員名簿や財産目録等の「事務所備付書類写し」は毎会計年度終了後3か月以内に作成し、4か月以内に県庁へ提出することが義務付けられています。提出書類の雛形を同封しましたので、ご活用ください。

▣ 提出先は〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 総務部総務課法規グループ

「事務所備付書類写し」はオンラインでの提出も可能です。詳しくは、「石川県電子申請システム」のホームページから、「宗教法人事務所備付け書類」を選択してください。

▣ 「石川県電子申請システム」HPで検索キーワードを「宗教法人」と入力ください。

◇本山経常費収納報告◇

3月27日現在、2023年度能登教区御依頼額1億965万円に対し、8,511万5,042円(78%)のご進納をいただいております。また御依頼寺院295ヶ寺中227ヶ寺にご完納いただいております。震災の影響がある中、尊いご懇念をお運びいただいておりますこと、衷心より御礼申し上げます。

本山経常費は宗派運営のための浄財であると同時に、交付金による教区・組の教化事業推進の礎となります。引き続き、教区御依頼完納に向けたお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

◇本山経常費完納寺院◇ (2024.02.01~2024.02.29迄)

2023年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。
 ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	西教寺
第3浜方組	恩敬寺
第3山方組	照願寺
第6組	超願寺
穴水組	慶法寺
第11組	光称寺
第12組	珀琳寺
第13組	長順寺

◇敬弔◇ (教区通信3月号掲載以降 敬称略)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

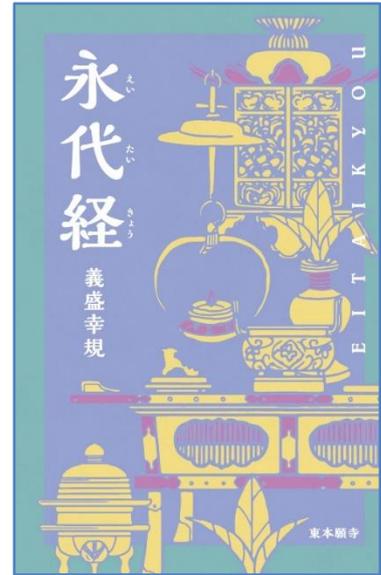
第5組	應覺寺	坊守	崎田 浄子	2024年1月1日寂
第6組	長順寺	前坊守	經本 寛子	2024年1月9日寂
鶉川組	徳善寺	前坊守	広瀬 章枝	2024年1月25日寂

◇東本願寺出版のお知らせ◇

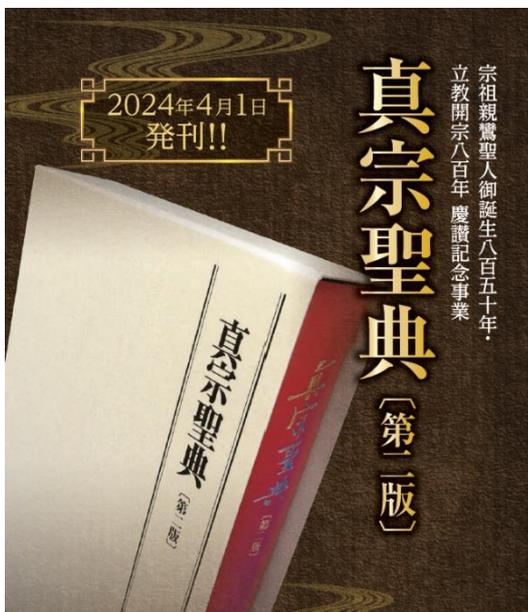
永代経(2024年版) 新書変形判/8頁 66円(税込)

『お盆』『お彼岸』『報恩講』『修正会』の冊子シリーズに『永代経』が新登場！
永代経のお参りの際や寺報などに同封して、ご門徒の方々にお配りください。

お話は、義盛幸規氏(北海道教区・法蘭寺)です。



真宗聖典[第二版] 大判/A5判 4,950円(税込)・小判/B6判 4,400円(税込)



近年の研究成果を踏まえ、より読みやすく、より詳しくなって、2024年4月1日発刊！
ご注文は東本願寺出版、もしくは能登教務所まで！

東本願寺出版

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

TEL:075-371-9189 / FAX:075-371-9211

※平日9時～17時(土日祝を除く)

Mail: books@higashihonganji.or.jp

「東本願寺出版ホームページ」からのご注文なら
クレジット決済をご利用いただけます！

東本願寺出版

検索



発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2024年4月1日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>

※この教区通信は能登教区ホームページより PDF ファイルでダウンロードすることができます。